

本紙は、共同募金の配分金によって発行しています。

◎平成30年度通常総会開催される

スローガン 『みんなでつくる ささえあいのまち』

平成30年度 上温品地区社会福祉協議会（社協）の通常総会を、5月12日（土）温品福祉センターで開催しました。役員・部会員62名が出席し、今年度の事業計画と予算、役員が決まりました。

上温品地区は超高齢化社会に突入しています。社協では明るい地域社会を築くため、深刻な生活課題を抱える高齢者等を早期に見出し適切な支援ができる『上温品見守りネットワーク』づくりと、住民同士が気軽に集まれる『地域のサロン』の立ち上げ支援に協力しています。また、ただいま「上温品地区福祉のまちづくりプラン第4次5か年計画」を策定中です。

この7月、西日本豪雨に見舞われ、上温品地区も河川を中心に多大な被害を受けました。地区内の多くの住宅が土石流危険渓流や急傾斜地危険区域内に建築されています。いざという時のためにハザードマップで、土砂災害危険箇所や避難ルート・避難場所などの確認をお願いします。

【重点目標】

- (1) 近隣ミニネットワーク活動の推進
- (2) ボランティア活動の推進
- (3) 児童青少年など健全育成のための活動への参加
- (4) 住民ふれあい活動の推進
- (5) 広報活動の充実
- (6) 活動体制の整備と効率的な運営
- (7) 防災活動の推進

【予算】

	(収入の部)	(円)	(支出の部)	(円)
繰越金	428,508		事務費	227,000
会費	368,400		会議費	80,000
助成金	503,000		事業費	1,395,300
日赤・共同募金	20,000		負担金	34,000
事業収入	675,400		相談室維持管理費	110,000
寄付金他	67,000		雑費	0
雑収入	0		予備費	216,008
収入合計	2,062,308		支出合計	2,062,308

5月度の「いきいきサロン」は、日帰り旅行に行きました

「いきいきサロン」では、毎年5月と11月は日帰り旅行に行きます。

今回は、5月18日に「いきいの村ひろしま」(深入山)にいきました。迎いのバスでボランティアも含めて33名が9時に出発。午前中は、グランドゴルフ希望者は別行動、12時に全員集まって昼食、自由時間には風呂や散歩、売店で買い物と楽しく過ごしました。お昼ごろ、少し雨が降りましたが新緑の深入山は爽やかな天気でした。午後2時30分に記念の集合写真を撮って出発、4時ごろ全員無事帰宅しました。



楽しかったです♪



医療法人 たかまさ会

理事長 山崎 正志

URL <http://www.takamasa.or.jp>

内科・循環器内科・呼吸器内科・消化器内科・
脳神経内科・放射線科・リハビリテーション科・歯科

一般療養棟・認知症専門棟・デイケア

介護老人保健施設

山崎病院

広島市東区上温品1丁目24-9

電話 (082) 280-1234 (代)

ウェルフェア

広島市東区上温品1丁目21-6

電話 (082) 280-3720

社会福祉協議会のPCにインターネット開通



平成30年4月4日、福祉センター相談室に設置してある社協のパソコンにインターネットが開通しました。今後、地域コミュニケーションを図るツールとして大いに活用していきたいと思っております。

平成30年度第1回 福祉部会・近隣ミニネットワーク会議開催

7月14日(土) 温品福祉センター2階ホールにおいて標記会議が開催されました。出席者は福祉部会部員の皆様、各町内会長を中心にその他関係者合計約80名が集まりました。議題は、

- ①上温品地区の近隣ミニネットワーク活動について
- ②研修会「災害に備えて」

の二つの議案でした。研修会の講師として来ていただいた安部浩二氏は、平成26年8月の安佐南区八木の土砂崩れの体験者として体験談を話されましたが、この7月の水害の直後ということもあり、参加者全員他人事でない感覚で聴き入りました。また、続いて自主防災会連合会会長の上村一司氏が7月水害の上温品地区の被害状況を写真を交えて話され、被害の甚大さを実感しました。



<開会のあいさつをする大藤会長>

<<平成30年度児童問題交流会開催>>



<講演中の前島進様>

子供たちにかかわりのある見守り活動や行事についての発表があり、地域ぐるみで子供たちの健やかな成長を支援していくことを確認し、交流会を終了しました。

平成30年7月21日(土) 温品福祉センターにおいて社協主催の児童問題交流会が開催されました。この交流会は青少年の健全な成長を地域で見守るため、例年夏休み前に開催されています。

今回は、「更生保護って知っていますか?」との演題で中国地方更生保護委員会の総務課長補佐 前島進 様を講師に迎え講演をしていただきました。

犯罪を起こすとどうなるのか、少年の場合はどうなのか、刑務所と少年院との違い。また薬物犯罪とはどんなものでその恐ろしさ等、長年にわたる保護観察官としての体験談を交えた話は、耳にしながら深く知らないことが多く全員が熱心に聞き入っていました。

講演後、小学校、中学校、高等学校の先生による、学校や生徒たちの様子についての発表に続き、地域の各団体からは、

新任紹介! 温品中学校 松原千奈美校長先生



今年度より温品中学校長を務めます松原千奈美と申します。実は昭和61年から数学科教師として7年間お世話になりました。かつてと同様、生徒は勉学に行事に全力で取り組んでおり母校に帰ってきたような感じがします。さらに、毎週のあいさつ運動や毎月の学校訪問、ふれあいパトロールなど、地域の皆様に見守られて支えられた温品中学校であることを改めて知ったこの数ヶ月間です。

様々な行事の際に生徒のボランティア活動の場を提供いただき、中学校の行事にもご助言いただきますこと、心より感謝いたします。これからも家庭・地域と一体となって子どもたちを育てる学校として取り組みを推進してまいりますので、ご支援のほどお願いいたします。

「ふれあいパトロール」 温品中学校区 ふれあい活動推進協議会



昨今、不審者による事件や、青少年の非行は多発し、凶悪化しています。このような状況の中、各地域諸団体でのパトロールを実施し、不審者による事件・事故防止対策や、子どもたちへの声掛けを行います。

<<パトロール日時>>

- ・7月 20日(金)、27日(金)
ご協力ありがとうございました。
- ・8月 3日(金)、17日(金)
19:30 ~ 20:30

※上記時間帯以外でも、夜間に子どもたちを見かけた際には、声掛けと見守りをお願いいたします。(温品中学校より)

福祉のまちづくりプラン 第4次5か年計画策定中

社会福祉協議会では25年度から29年度まで「福祉のまちづくり第3次5か年計画」により取り組んできました。この5年間皆様のご協力によりある程度の成果を上げることができました。社協では少子高齢化及び自然災害に伴う諸課題に対処すべく次の5か年計画(2018~2022年度)を策定中です。今後ともご協力をいただきますようお願いいたします。

上温品地区担当 保健師の浜本さんをご紹介します♪

- ・子育て相談
 - ・高齢者や障害者への支援
 - ・学校との連携
 - ・健康づくり、介護予防
- など、相談に乗ってくださいます。



毎月第4木曜日 9:30~11:30
温品福祉センター
健康相談と子育て支援
「はとぼっぼ」に来られます♪
《連絡先》東区役所 地域支援第二係
082-568-7729

おかもと整形外科
スポーツクリニック

不動産総合コンサルタント
シンアイ
不動産販売(株)
東区上温品1丁目31-11
TEL.082-280-1212

藤三

(有)沖クリーニング & コインランドリー設置
洗濯機17kgドラム洗浄 + 除菌(脱水860回転) /
一度に 毛布(S)4枚、羽布巾2枚、こたつ布巾上下で
800円 除菌900円
上温品1丁目32-19 ☎289-1764

～交流体験(上温品小学校)～

6月に、はぐくみの里の方、社協の方と交流体験をしました。今回は、麦の刈り取りと脱穀です。この麦は、5年生の時、はぐくみの里の方と一緒に蒔いた麦の種が、育ったものです。すくすくとまっすぐ空に向かって育ちました。刈り取りは、「麦の穂から10センチくらいのところを刈りましょう。」脱穀は、「優しく棒で小刻みにたたきましょう。」「時々ひっくり返しましょう。」「網の目を大きいものから、小さいものにかえてふるいますよ。」というアドバイスをいただいたので安心してできました。「こうやって脱穀するんだね。」「いっぱいとれたね。」実際にやってみたら気付くことがたくさんありました。はぐくみの里の方、社協の方に見守られながら、初めての活動に挑戦することができました。ありがとうございました。
(上温品小学校より)



<麦の穂の脱穀の様子>

平成30年度 賛助会員募集のお願い

賛助会とは…上温品地区社会福祉協議会の活動に賛同していただける地域のみなさまに、会員になっていただきご支援いただくものです。

賛助会費…◆個人 一□ 1,000円 ◆団体 一□ 3,000円

《受付は温品福祉センターへ》

平成30年6月末までにご加入いただいた方

【団体】東部マツダOB会、ひばりのとまり木

【個人】大藤 馨、岡野 秋江、垣内田 利理子、香川 信明、川崎 多喜子、桑原 りえ、小井手 一哲、佐々木 義之、鋤田 耕一、鋤田 洋子、杉田 達彦、高橋 保江、田原 千鶴子、田原 美智子、茶山 薫、徳安 陽子、鳥越 礼子、永町 正幸、信田 邦男、平岡 伸、福本 隆志、藤井 悦子、前原 三千男、松谷 幹雄、宮城 健爾、妙田 久枝、矢可部 芳州、山岡 清、吉原 道子、匿名2名 (50音順 敬称略)

《福祉の輪》 次の方から上温品地区社会福祉協議会にご寄贈がありました。
お寄せいただいた善意は当地区内の住民福祉の増進に有効に活用させていただきます。

☆ 金一封 正光寺様

地域社会の発展と活性化に努めます



広島東部地区マツダOB会
(上温品・温品・馬木・福田)

平素は上温品地区の地域活動へのご協力誠に有難うございます。
また今年の 7 月の豪雨で被害を受けられました皆様には心よりお見舞い申し上げます。
今回のいわゆる「平成 30 年 7 月豪雨」は広島県や岡山県をはじめ西日本を中心に土石流による家屋倒壊、河川氾濫による家屋の浸水等で多くの方が亡くられました。幸い上温品地区は人的被害、家屋倒壊等の大きな被害はなかったもののこれまであまり経験したことのないレベルの被害を受けました。そこで今年の 7 月豪雨災害を振り返り今後住民の皆様が平素から身に付けておくべきことについて考えてみたいと思います。

1、上温品地区 豪雨被害状況

温品川の護岸崩壊や急傾斜地の土砂崩れ、河川越流等これまで経験の無いような被害が発生しました。温品川河岸の被害地の緊急応急対策が実施されましたが本格的な対策工事まで心配され早期復旧が望まれます。



温品川河岸の崩壊（大原）



平林橋 下流（大上）



第 2 東山橋上流（石原田）



急傾斜地土砂崩れ（大上）



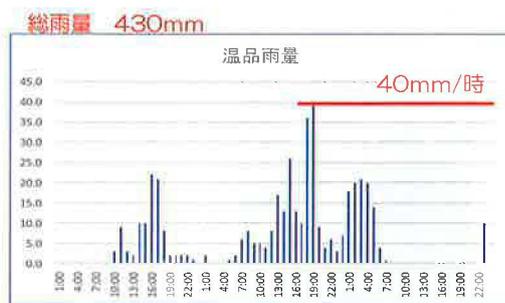
石垣崩壊（大原）



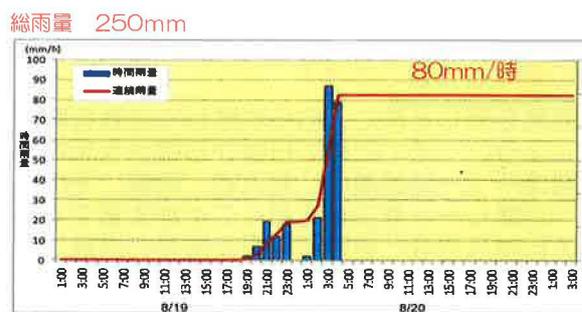
菰口への市道 路肩崩壊

2、雨量はどのくらいだったでしょうか？

7 月 5 日から 7 月 7 日にかけて長時間にわたり激しい雨が降りました。平成 26 年に大被害を出した安佐南区の豪雨災害時より時間雨量のピークは低いものの総雨量が 430mm と多量でした。地球温暖化による気候変動で我々の地域も更に危険なステージに入ったのでは危惧しています。



平成 30 年 7 月 5 日～7 日雨量（温品）



平成 26 年 8 月 20 日雨量（安佐南区）

3、一時避難所を開設しました（介護老人保健施設ウェルフェア）

7 月 6 日午後 土砂災害の危険性が高く上温品地区に避難準備情報が発令され「介護老人保健施設ウェルフェア」に一時避難所を開設しました。避難指示が出た後 123 人も多くの人が避難されました。避難者のうち 6 割の方が温品川やその他の支流近くに居住されている方、3 割の方が急傾斜地近傍に居住されている方今回の豪雨で、身の危険を感じて避難されました。一方上温品小学校を一時避難所と思われ足を運ばれた方がおられました。上温品地区の豪雨時の一時避難所は「ウェルフェア」と認識ください。

今回の避難所開設に際し山崎病院/ウェルフェアの皆様には避難場所の追加（1 階）、水や非常食の提供、フジパン様には夜食のパンの差し入れをして頂きました。避難者の皆様とともにお礼申し上げたいと思います。



一時避難所（ウエルフェア）



7月6日 22時 避難所の模様

4、いざという時のために何を？

「自分の身は自分で守る」を原則に 平素から災害リスクを考えて準備しておきましょう

① 自分の地域を知ろう

周囲の危険区域を自分の眼か「防災マップ」などで確認しましょう。
上温品地区には団地周辺に多くの危険箇所があります。今回の豪雨でこの危険箇所の一部が被害を受けました。危険箇所は一昨年4月に各町内会参加で作成し各戸配布した「わが町防災マップ」に記載されています。今回被災した場所を含め自宅周辺の危険区域をしっかりと確認しておきましょう。



上温品地区危険箇所図

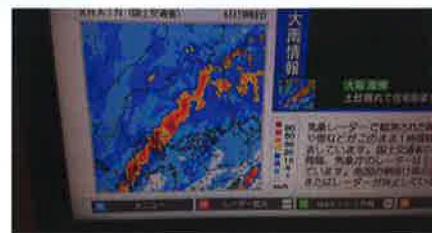


わが町防災マップ（例：石原田、鮎信、平林5）

② 危険性をいち早く察知しましょう！

NHK データ放送、防災情報メールなどを利用し早めに危険性を察知しましょう。
一度リモコンのDボタンを押してみてください。

危険性は気象情報、行政からの情報、町内会、知人友人からの情報、更に周囲の状況（川の水位におい、音、落石など）から察知しましょう。



気象レーダで雨の様子を察知！

③ 早めの避難をしましょう！

身の危険を感じる前に、自ら判断して避難を開始しましょう。そのために日頃から被災を想定した避難場所（一時避難所、知人宅、親戚、その他）や避難ルートを決めておくことが大切です。体の不自由な方など避難行動要支援者の避難は早めに行えるよう支援をお願いします。



④ 災害リスクに備えよう！

非常持ち出し品を準備しておきましょう。避難所へ一時避難する場合は飲料水、食糧や常備薬などを持参しましょう。また町内会等で実施される防災訓練にも積極的に参加しましょう。

